

大活字本・朗読CD等 貸出ししてます

2019年6月に「読書バリアフリー法」が成立したことに伴い、南風原町立図書館でも大活字本や朗読CD等の貸出しも行っています。また、拡大読書器もご利用いただけます。ぜひご利用ください。



ピックアップ図書

『88歳、しあわせデジタル生活』

作：若宮正子

スマホもインターネットも老いの味方です。58歳パソコンデビュー、81歳ゲームアプリを作成。

シニアからはじめた88歳マーチャンが手ほどき。デジタルってななに？そんなお話からはじめましょう。デジタルともしっかり仲良くなる方法を手ほどきします。



図書館だより



問 南風原町立図書館 ☎889-6400

開館時間／10:00～19:00(土日17:00まで)

休館日／毎週火曜日、第4木曜日、祝日

12月 受入予定図書

都合により受入れが遅れる場合があります(詳しくは図書館まで)

- ★メメンとモリ／ヨシタケシンスケ
- ★マドレーヌとフィナンシェの実験室／加藤里名
- ★ウルトラ図解 おとなと子どもの頭痛／清水俊彦
- ★海面上昇のサバイバル2／ゴムドリCO.
- ★パンどろぼうとりんごかめん／柴田ケイコ
- ★青姫(Aohime)／朝井まかて
- ★またうど／村木嵐
- ★絵で解る 琉球王国 歴史と人物3／JCC出版部

電子図書館
ホームページ



いつでも
どこでも読める
電子図書館



電子図書館
申し込みについて



学校応援隊 はえばる

ボランティアに協力いただける方は、問 南風原中央公民館 ☎889-0568
ぜひお電話ください。

南風原中学校1学年

10月24日

地域に学ぶ!ワークプラザ南風の仕事体験

町づくりや琉球絣、福祉、環境、防災、戦争と平和、特産物、産業をテーマに学習している1年生がワークプラザ南



▲アルミ缶とスチール缶の仕分け方を教える利用者(左)

風で仕事体験をしました。リサイクル班で空き缶の仕分け作業をした生徒は、これからはゴミの分別に注意したいと話していました。

南風原小学校4学年

10月27日

翔南小学校4学年

11月10日

運動会空手演武指導

両小学校では沖縄空手県内普及促進事業を活用し、沖縄空手道剛柔流の平良貞行さんと神里勇吾さんを演武指導として講師派遣していただきました。



▲南風原小学校運動会の様子

練習の成果を充分に発揮した児童の演武に会場からは盛大な拍手がおくられました。

南風原中学校1年2組
南星中学校1学年

10月11日

11月5日

南風原町の農業 (かぼちゃ・へちま)について学ぶ

農家の神里さんから南風原町の農業について学び、生徒からは作物の栽培についてたくさんの質問がありました。



また、へちま栽培をしている南風原中1年2組は神里さんの畑を見学し、栽培の注意点を教えてもらいました。

▲南星中で講話をする神里敦さん

翔南小学校1学年

10月18日

昔あそび



▲地域老人クラブとあそびの城のみなさん

7つの遊びを通して、交流しながら遊びのコツを教えてもらいました。

児童は「教えてもらって、こまやけん玉ができるようになった」と感想を述べていました。

はえばる エコセンターだより

南風原町在住の方優先で、エコを身近に感じられる体験を毎月開催しています。申込みはエコセンターへ来店、または電話にて予約ください。※各講座の詳しい持ち物・注意事項は予約の際にお伝えします。

問 はえばるエコセンター ☎889-4425

みつろうラップ作り

みつろうを使って、くり返し使えるエコな食品保存ラップを作ります。



【持ち物】30×30cmまでの綿か麻の布(手ぬぐいまでの厚さ)
【日時】12月3日(火)
①10:00～ ②11:00～
【場所】はえばるエコセンター
【料金】500円
【定員】各回2人

いっぺーじょーと一君説明会

家庭用コンポスター「いっぺーじょーと一君」を使って生ゴミの削減をしませんか?においがほぼなく、土のような基材と混ぜるだけの簡単なコンポスターです。



【日時】12月4日(水)
10:00～11:00
【場所】はえばるエコセンター
【料金】無料
【対象】南風原町民優先
【定員】4人

リユース制服あります

南風原町内から通える学校の制服・学用品のリユース活動をしています。

寄付したい方

洗濯、アイロンがけをした後清潔な状態でお持ち込み下さい。状態が悪い物は譲り先が見つからないため受付できない場合があります。

もらいたい方

サイズを確認し身分証を持参してご来店下さい。南風原町在住の方は無料です。

今年もありがとうございました。良い年末年始をお迎えください。

文化の泉 宝物

No.59

問 南風原文化センター ☎889-7399

列車爆発事故から80年

1914(大正3)年に開業し、県民の足として親しまれた沖縄県営鉄道(通称・軽便)。南風原には5つの駅がありました。南風原からは80年前、1914(昭和19)年12月11日、突然その事故は起こりました。

戦時色が濃くなっていった当時、軽便鉄道は軍事目的で運行されるようになっていました。弾薬やガソリン入りのドラム缶、衛生材料を積み、兵士と女学生を乗せた列車が、南風原の山川駅から喜屋武駅にかけての坂を上り、神里の集落の東側、稲嶺駅の手前のワイトウイ近くに来たところ、突然爆発がおこりました。

ドラム缶のガソリンが発火したために爆発がおこったものとみられています。火は列車に積載した弾薬に引火し、爆弾の破片が周囲に飛び散り、辺り一面が火の海になりました。兵士、女学生、県営鉄道職員約220人が亡くなる大事故でした。

当時の神里の住民はその惨状を目の当たりにしていました。ある住民

は、爆発音が聞こえて、空からは白い紙(衛生材料)が降っていた。消火作業に向かったがパンバンと弾が飛んできたのであきらめて壕に避難し、3日後に事故現場に行くと周辺は異臭が漂い、サトウキビ畑には肉片が散乱していた、と証言しています。この事故で神里では民家2軒が燃え、1軒が風圧で潰されました。

ところが、「軍規の弛緩」が原因とされたこの事故は日本軍によって秘密裏に事故処理が行われ、「箱口金」がしかれました。住民は事故について語ることを許されなかったのです。

そして、軍にとって都合の悪い事故は隠されたまま、翌年の沖縄戦へ突き進んでいきました。

ミニパネル展「列車爆発事故」

【日時】12月5日(木)～12月28日(土)
9時～18時※水曜休館
【会場】南風原文化センターロビー